

- 問1 8世紀初めの大宝律令が制定された頃、日本は大陸の先進的な国家に大規模な使節を派遣しました。この使節が、当時の中国の王朝から進んだ制度や文化を日本に持ち帰り、日本の国家の仕組みを整える上で重要な役割を果たしたものを何と呼びますか。 (2023年 広島県公立入試 類似)
1. 朝鮮通信使 2. 勘合貿易船 3. 遣唐使 4. 遣隋使
- 問2 東大寺の正倉院には、青く透き通ったガラス製の坏（容器）など、当時の日本にはなかった高度な技術による宝物が多数収められています。これらの宝物が日本に伝わった経路や背景について述べた文として、適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)
1. 鎌倉時代の日宋貿易を通じて、中国から最新の製紙技術とともに輸入された。 2. 南蛮貿易により、ヨーロッパの宣教師がキリスト教の布教とともに献上した。 3. シルクロードを経由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。 4. 琉球王国の中継貿易により、東南アジア諸国の特産品が九州を経て近畿地方へ運ばれた。
- 問3 聖武天皇が、都に東大寺を、全国に国分寺や国分尼寺を建立することを命じた背景にある目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 地方の豪族を仏教勢力として組織化し、武力によって蝦夷を制圧するため 2. 仏教の力を用いて、疫病や災害などの社会不安を解消し、国家の安定を図るため 3. 墾田永年私財法によって得られた余剰資金を管理する拠点を作るため 4. 遣唐使を廃止し、日本独自の国風文化を全国に浸透させるため
- 問4 歴史上の出来事を時系列で整理したとき、7世紀初めの「遣隋使の派遣」から、11世紀末の「院政の開始」までの間に起こった出来事として正しいものはどれですか。 (2022年 愛媛県公立入試 類似)
1. 承久の乱が起こり、後鳥羽上皇が幕府軍に敗れて隠岐に流された。 2. 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。 3. 参勤交代が制度化され、諸大名が一年交代で江戸と領地を往復するようになった。 4. 地租改正が行われ、土地の所有者に地券が発行され、地価の3%を現金で納めることになった。
- 問5 日本の経済史の主な出来事をまとめた記述において、8世紀から10世紀の期間に位置づけられる、708年に発行された貨幣の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 広島県公立入試 類似)
1. 無文銀錢 2. 和同開珎 3. 天保通宝 4. 永樂通宝
- 問6 律令国家が作成した戸籍の中には、ある郷の総人口435人のうち、男性が59人であるのに対し、女性が376人と記録されているものがあります。このように、実際の性別とは異なる虚偽の申告が行われた背景には、男性にのみ課せられた重い税負担がありました。収穫した稲の約3%を納める「租」とは別に、男性にのみ課せられた、地方の特産品を納める税と、都での労役の代わりに布を納める税の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2023年 秋田県公立入試 類似)
1. 調と庸 2. 租と調 3. 租と公出拳 4. 租と庸
- 問7 奈良時代の税制度において、都からの距離と人々に課せられる負担の関係について正しく述べたものはどれですか。都を中心として同心円状に地域の負担を示した資料の内容を踏まえて答えなさい。 (2019年 大分県公立入試 類似)
1. 都に近い地域ほど、特産物を都まで運ぶ往復の移動に日数がかかるため、労役が免除されていた。 2. 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。 3. 都に近い地域ほど、収穫した米の一定割合を納める「租」の負担が重くなっていた。 4. 都に近い地域ほど、都から遠い地域よりも納める特産物の種類が多く指定されていた。
- 問8 奈良時代の律令制度において、政府が農民を管理し、土地を割り当てるための基準とした仕組みと、その際に農民へ与えられた土地の組み合わせとして正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 検地帳に基づいて与えられた名田 2. 戸籍に基づいて与えられた名田 3. 戸籍に基づいて与えられた口分田 4. 検地帳に基づいて与えられた口分田
- 問9 奈良時代、平城京を中心に展開された「天平文化」について、その成立背景と中心人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2017年 山形県公立入試 類似)
1. 桓武天皇が新しい仏教を保護し、山岳修行を中心とした神秘的な文化が形成された。 2. 藤原道長が摂関政治の全盛期を築き、かな文字を用いた女流文学が発展した。 3. 足利義満が日明貿易を推進し、公家文化と武家文化が融合した北山文化が形成された。 4. 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。
- 問10 東大寺の正倉院に納められた宝物が、当時の西アジアやペルシアといった遠方の地域の特色を持っている理由として、最も適切な説明はどれか。 (2016年 東京都公立入試 類似)
1. 聖武天皇が仏教を広めるためにシルクロードを自ら横断し、各地で収集した仏具や美術品を持ち帰ったため。 2. 日本がペルシアやインドと直接の通商条約を結び、定期的に商船が難波津や平城京へ来航していたため。 3. 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。 4. モンゴル帝国がユーラシア大陸を支配したことで、東の果てにある日本とも陸路での安全な交易が可能になったため。
- 問11 奈良時代の平城宮跡などの遺跡からは、当時の政治や人々の生活を物語る史料が数多く出土しています。紙が非常に貴重であった古代において、墨で文字を書き、荷物の付札や行政の記録として用いられた細長い木の札を何と呼びますか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
1. 火炎型土器 2. 埴輪 3. 銅鐸 4. 木簡
- 問12 奈良時代の国際的な文化を象徴する事例として、東大寺の正倉院には当時の貴重な宝物が数多く保管されています。これらの宝物の特徴について説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
1. キリスト教の伝来に伴い、ヨーロッパの宣教師が持ち込んだ聖書や地図が数多く残されている 2. 縄文時代からの伝統的な土器が、仏教文化と融合して独自の変化を遂げたものが中心である 3. 宋との貿易を通じて輸入された、青磁や白磁などの磁器が大部分を占めている 4. 遣唐使を介して、ペルシャ（イラン）など西アジアの影響を受けた工芸品や楽器が含まれている
- 問13 延べ二百万人以上の人々が協力したとされる奈良時代の東大寺の大仏造営において、当初は活動を制限されていた僧侶の行基が、最終的に朝廷から協力を依頼された背景を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
1. 比叡山に延暦寺を建てて、平安京の北東にある鬼門を守護し、国家の安寧を祈念する役割を担っていたから。 2. 真言宗を説き、加持祈祷によって天皇の病気を治したこと、朝廷内での信頼が急速に高まったから。 3. 土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。 4. 唐から命がけで渡来し、正しい戒律を日本の僧侶に伝えることで、仏教界の規律を正した実績があったから。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 遣唐使	大宝律令によって律令国家としての形が整えられた時期、日本は中国の「唐」の優れた統治システムや仏教文化を直接学ぶために使節を派遣しました。これが遣唐使であり、持ち帰られた知識は平城京の建設や政治組織の構築に大きく貢献しました。遣隋使はそれ以前の「隋」に送られたものであり、朝鮮通信使は江戸時代のものです。
問2	答え 3 シルクロードを經由して西アジアなどから唐へ伝わった文化が、遣唐使によって日本へもたらされた。	正倉院の宝物には、ペルシャ（西アジア）風のデザインやガラス工芸品が含まれています。これらはシルクロードを通して唐に集まったものが、遣唐使などの往来によって日本まで伝えられたもので、当時の日本が国際的な交流網の東端に位置していたことを示しています。
問3	答え 2 仏教の力を用いて、疫病や災害などの社会不安を解消し、国家の安定を図るため	当時の社会は天然痘の大流行や凶作、貴族間の対立といった困難に直面していました。聖武天皇はこれらの社会的な混乱を解決するために仏教を重視し、国家の安泰を祈願して大仏の造立や全国的な寺院建立を行いました。これは宗教的な権威によって天皇を中心とする統治体制を強化する狙いもありました。
問4	答え 2 墾田永年私財法が出され、新しく開墾した土地の永代私有が認められた。	遣隋使の派遣は飛鳥時代（600年～）、院政の開始は平安時代後期（1086年）の出来事です。743年に制定された墾田永年私財法は、その中間の奈良時代にあたります。他の選択肢については、承久の乱が鎌倉時代、参勤交代が江戸時代、地租改正が明治時代の出来事であるため、示された期間にはあてはまりません。
問5	答え 2 和同開珎	8世紀の奈良時代、平城京の造営費用や役人への給料を支払う目的などで和同開珎が発行されました。政府は貨幣を普及させるために、貨幣を貯めた量に応じて位階を与える「蓄銭叙位令」を出すなど、流通を促進する政策を講じました。
問6	答え 1 調と庸	律令制下では、すべての人民に口分田が与えられ、その面積に応じて収穫した稲の約3%を納める「租」が課せられていました。これに加え、成人男性には地方の特産品を納める「調」や、都での年間10日の労役の代わりに布を納める「庸」などが課せられていました。これらの負担は非常に重く、さらに都まで運ぶ運脚の負担も男性が負っていたため、人々は戸籍上で性別を偽る「偽籍（ぎせき）」を行って負担を逃れようとしていました。
問7	答え 2 都に近い地域ほど、都で働く労役の日数が多く設定されていた。	奈良時代の律令制度では、都からの距離に応じて税や労働の負担が調整されていました。都に近い地域（畿内など）に住む人々は、都までの移動距離が短く、移動に要する日数が少なくて済むため、その分、実際に都で働く「労役（賦役）」の日数が多く課せられていました。これは、遠方の地域の人々が特産物などを都まで運ぶのに多大な日数を費やすこととのバランスを考慮した仕組みです。「租」は主に田地の面積に応じて課されるものであり、都からの距離によって収穫量の割合が変わるものではありません。
問8	答え 3 戸籍に基づいて与えられた口分田	律令国家では、国民を把握するために「戸籍」を作成しました。この戸籍に基づき、6歳以上の男女に「口分田」を与えて耕作させる「班田収授法」が行われました。検地帳や名田といった用語は、後の時代（中世・近世）に登場する概念であり、奈良時代の制度としては不適切です。
問9	答え 4 聖武天皇が仏教による鎮護国家を目指し、唐の影響を受けた国際的な文化が形成された。	天平文化は、聖武天皇が仏教の力で国家の安寧を願った（鎮護国家）ことが大きな推進力となりました。当時、日本は積極的に唐の制度や文化を取り入れており、都である平城京には国際的な品々が集まりました。選択肢にある密教の発展（弘仁・貞観文化）や、かな文字の普及（国風文化）は、いずれも平安時代の特徴です。
問10	答え 3 当時の唐は広大な帝国であり、シルクロードを通じて世界中の文化が集まっており、日本は遣唐使を通じてそれらを吸収したため。	奈良時代の文化が国際的な性格を持つ背景には、唐の都である長安が「シルクロードの終着点」として機能していたことが挙げられます。長安には西方から多様な文物が流入しており、日本は遣唐使を派遣して唐の優れた制度や文化とともに、間接的に西アジアやペルシアなどの工芸技術やデザインを取り入れました。モンゴル帝国の影響は鎌倉時代の元寇以降の時期に関する記述であり、時代が異なります。
問11	答え 4 木簡	木簡は、古代において情報の記録や伝達のために用いられた木の板です。墨で文字が書かれており、都へ送られる租・庸・調といった税の荷札（どこから誰が送ったかを示すもの）や、役人の勤務記録、命令の伝達など、現代の公文書やメモのような役割を果たしていました。紙が普及する前の時代における、極めて重要な文字史料です。
問12	答え 4 遣唐使を介して、ペルシャ（イラン）など西アジアの影響を受けた工芸品や楽器が含まれている	当時の日本は遣唐使を派遣し、唐だけでなくシルクロードを經由して伝わった西アジアや中央アジアの文化も取り入れました。正倉院に収められた「螺鈿紫檀五絃琵琶」やガラス製品などは、当時の日本が大陸との交流を通じて国際色豊かな文化（天平文化）を築いていたことを示しています。
問13	答え 3 土木技術を駆使した社会基盤の整備を通じて、農民などの民衆から絶大な信頼を得ており、その動員力が期待されたから。	聖武天皇が発願した東大寺の大仏造立は、国家を挙げた巨大プロジェクトであり、莫大な費用と人手が必要でした。行基は各地で社会事業を行い、民衆の間で圧倒的なカリスマ性を持っていたため、朝廷は彼の動員力を利用することで大仏造立を成功に導こうと考えました。選択肢にある鑑真は戒律の伝達、空海は真言宗、最澄（比叡山）は天台宗に関する内容であり、行基の事績とは異なります。